



木場小だより

教育目標：自ら学び、心豊かでたくましく 未来の創り手となる児童の育成



令和7年12月23日

発行

校長 吉田 亜紀

木場小キャラクターキバシカ

人権集会(12/4)

人権集会において、運営委員会が中心となり取り組んできました。6年生の国語の「みんなで楽しく過ごすためには」の話し合いの学習から、全校に取組が広がりました。まず、生活目標「思いやりの心をもとう」に関して、各学級で問題だと思えることを出してもらいました。「言葉づかいが悪い」「思いやりのある行動が少ない」「けんかが多い」「感謝をしていない」などの問題点が代表委員会に上がってきました。そこで、代表委員会で、それを解決するためにどのような取組をするのかを話し合いました。話し合いの結果、「エンジェル週間」と「人の名前ビンゴ大会」をすることになりました。エンジェル週間は、くじで引いた人に親切な行動をしたり、良いところをみつけたりすることです。温かい思いやりあふれる、色玉が職員室前の掲示板に貼られています。人の名前ビンゴ大会は、2学期終わりに全校で行い盛り上がり、学年関係なく親睦を深めることができました。

今回の取組で特によかったことは、自分たちの学校の課題を解決するために、自分たちで考えて行動したことです。これが、学級会や、これからの委員会活動等、いろいろなところにつながっていったらよいと思います。また、この取組について各学級で振り返りの時間を持ち、それを人権集会で発表したことです。どこがよかったのか、これからどんなことに気をつけなければならないかをしっかり考えることができました。私からは、人権週間啓発ポスターの「誰かのことじゃない」という言葉を取り上げ、差別やいじめは、誰かかわいそうな人の話ではなく、いつでも、どこでも起こりうるもので、差別やいじめをなくすために、自分は何ができるのかということについていつも考えてほしいと話しました。一人ひとりがそう思うことで、平和や幸せが木場小学校だけでなく広がっていくことを願います。子どもたちに、どこに広がっていくの?と言ったら、「世界」と聞こえました。本当にすてきだと思いました。人権についてみんなで考える貴重な時間でした。

○ 今年の登校は明日で最後です。保護者の皆様、地域の皆様、今年も本当にお世話になりました。いつも木場小学校の教育活動を温かく見守り、応援してくださっていること心から感謝しています。25日(木)より冬休みになります。生活のきまり等を守り、有意義で楽しいものになることを願っています。

来年もどうぞよろしくお願いします。新学期は1月8日(木)からです。

